

高齢者交通事故多発交差点マップを作成

～北海道内の高齢者交通事故は市街地交差点で多く発生～

日本損害保険協会北海道支部(委員長:加川 克仁・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 北海道地域担当 執行役員)では、北海道内で高齢者が関わる交通事故が多発している交差点のマップを作成し、WEB 上で公開しました。

警察庁の統計上、2022年の北海道における交通事故死者数(115名)のうち、半数以上(63名)が65歳以上の高齢者でした。また、北海道警察の資料によると、高齢者交通事故は買物時や散歩中など自宅から比較的近い場所で多く発生し、その半数以上が市街地交差点で発生しています。

本マップは、北海道警察の統計データをもとに、2018年～2022年の5年間に65歳以上の高齢者が関わる交通事故が6件以上発生している交差点を示しています。各交差点のピンをクリックすると、事故類型(車両相互、車両単独、人対車両)、状態別(自動車運転中、自転車運転中、歩行中)の死傷者数を確認できます。

当支部では、北海道警察と連携し、本マップや反射材付きの注意喚起チラシを活用しながら、高齢者への事故防止啓発活動を行っていきます。

■北海道内高齢者交通事故多発交差点マップ(2018年～2022年に6件以上の事故が発生した交差点)

https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=1Tw9SY1C9QQmB3NyVk3RCfU_dZvMsEfw&ll=43.064325577686034%2C141.35152555666505&z=13

※北海道警察の統計データを基に作成

■注意喚起チラシ「高齢ドライバーは、出会い頭の事故に注意！高齢歩行者は、夕暮れや夜間に注意！」



以上